

平成 20 年度事業計画

大阪国際経済振興センターは、国際見本市会場「インテックス大阪」の管理運営を行うとともに、市内中小企業の国際ビジネス交流の促進や国内外企業の大阪への誘致活動などを行い、国際的な人・物・情報・技術・文化の交流を促進する諸事業を実施する。

1. 「インテックス大阪」の管理運営

大阪市からの委託を受けて、「インテックス大阪」の効率的な管理運営を行うとともに、利用者に親しまれる国際見本市会場をめざして館内設備等の補修・改善を引き続き進める。

平成 20 年度においては、平成 19 年度同様 100 件以上の見本市・展示会等が開催される見込みであり、特色のある大規模な催しは次のとおりである。

- ・国際ウェルディングショー（4 月）

溶接・切断からレーザー加工、マイクロ接合・粉体加工やCAD/CAM・CIMなどのコンピュータテクノロジーに至る世界 3 大溶接ショー、4 年に 1 度開催

- ・インターモールド（4 月）

日本の製造業を支える「金型」をテーマとし、金型設計から整形加工に至る、最新技術を集めた金型総合展、2 年に 1 度開催

- ・2008 日中韓産業交流会(大阪)（6 月）

東アジアの一層の経済発展に資するため、日本・中国・韓国の 3 カ国が共同して開催する展示会・シンポジウム・セミナーなど総合的なビジネスイベント

- ・フードテック（10 月）

食品産業機械・機器などの最新技術の総合展、2 年に 1 度開催

- ・モバックショウ（21 年 2 月）

製パン・製菓機械・設備器具などの国際製パン製菓関連産業展、4 年に 1 度開催

2. 営業推進事業

内外の各種見本市・展示会等の「インテックス大阪」への誘致・利用促進活動及び情報提供・広報活動等を展開する。

(1) 誘致・利用促進活動

新たな展示会・見本市開催のため、主催者等に対して積極的な誘致活動を行う。
イベントの主催者に対してフォローを密にし、継続開催に向けた利用促進活動を行う。

施設の空き状況の問合せから開催までの事務処理システムを改善し、施設利用の促進を図る。

コンベンション・宿泊などの機能を有する周辺施設と共通パンフレットの作成や情報交換などの連携を強め、展示会主催者の要望に対応した誘致活動を行う。
首都圏・関西圏の業界団体や主催者・イベント関連業者等を対象に、利用促進活動の一環として「インテックス大阪」の説明会・交流会を行う。

展示会ビジネス関係団体等との交流を強化し、見本市・展示会の情報を収集するとともに、需要開拓を行う。

(2) 情報提供・広報活動

主催者向けには、催し関連資料のダウンロードや照会等ができる機能を充実し、来場者に対しても見やすい情報提供として本年 3 月に全面リニューアルしたインテックス大阪ホームページを活用することにより、施設利用の促進を行う。
主催者のコンテンツ放映をはじめ、開会式や展示会の中継など、多岐にわたるインテックスビジョン活用のメリットを P R し、インテックスビジョン利用促進を通じて、展示会場としての魅力を高める。

大阪ベイエリア連携会・コスモスクエア開発協議会等に参画して、地域の活性化に貢献する。

その他、インテックス大阪利用促進のため、広報活動を推進する。

3. サービス提供事業

インフォメーションセンター窓口では、新たに専門スタッフを配置して、館内案内・交通案内などの各種案内、車椅子の貸出しサービスなどを行うとともに、コインロッカー・携帯電話充電器などの利便施設機器のサービス提供を行う。

また、ビジネスセンターにおいては、コピー・F A X ・パソコン・インターネット利用サービスなどのビジネスサポートに努めるとともに、インテックス大阪に付設する駐車場についても、総合的に円滑な運営管理を行う。

4 . 経済交流事業

大阪経済の国際化と活性化を図るため、ワールドトレードセンター大阪(WTCO)、ビジネスパートナー都市(BPC)などの海外ネットワークを活用して、大阪の中小企業の国際ビジネス活動を支援するとともに、大阪市海外事務所の運営を通じた経済交流並びに国内外企業の大阪進出を促進するための企業誘致事業に取り組む。

(1) 国際ビジネス活動支援事業

市内中小企業の国際経済活動を支援するため、専門家による海外ビジネス相談や各種経済セミナーの開催、展示会・商談会の開催、貿易関連情報の提供などの事業を行う。

海外ビジネスに長年携わった経験を持つアドバイザーを配置し、貿易・投資に関する相談や海外取引に関する日常的な懸案についてアドバイスを行う。また、法律・財務・物流などの専門家を通じて、近年、取引件数が大きく伸びている中国に特化した専門相談も行う。

市内中小企業等が関心を寄せるテーマを選定してセミナーを開催し、最新の国際ビジネス情報や海外都市の経済状況、貿易・投資情報等を提供、新たなビジネス展開を支援する。

輸出入促進のために、海外ヘミッション団を派遣して、商談会等を開催するとともに、現地の経済動向に触れてもらう機会を提供する。

海外からの企業ミッション受け入れに合わせて、大阪において企業との商談会や交流会等を開催し、ビジネスを促進する。

また、実際に海外企業の商品を国内企業の担当者に見てもらう場として大阪で商品展示を行うとともに、海外企業との商談会等を開催する。

国際ビジネス情報や海外都市の経済状況・企業情報、貿易・投資に関する情報、商品取引情報をインターネット等により提供し、取引の促進を図る。

ビジネスパートナー提携都市 13 都市が一堂に会する場として9月に大阪でラウンドテーブル会議を開催し、提携都市間の交流を促進するとともに、市内企業の国際ビジネス交流に資するため、随行海外企業との商談会を開催する。

財団の賛助会員などを対象として、国際ビジネス関連のイベント案内を行うとともに、情報交流会や貿易・投資セミナー、語学などの各種研修会、中国やベトナムに関する相談事業を開催し、会員のビジネスを促進する。

(2) 大阪市海外事務所の運営を通じた経済交流促進事業

海外に事務所を持たない市内中小企業の国際ビジネス支援及び大阪への企業誘致や情報収集・PR拠点として設置されている大阪市海外事務所（シンガポール、パリ、上海）の運営を通じ、経済交流を促進する。

輸出入促進のために市内中小企業の引合斡旋等を行うとともに、経済情報の提供などを通じて、海外における企業活動を支援する。

海外に立地する特性を活かし、現地並びに周辺諸国との経済及び各種交流を促進する。

日本進出を希望する企業の発掘などを通じて大阪への企業誘致活動を行う。

大きな経済発展が見込まれているアジアの3都市（天津、ホーチミン、ムンバイ）に現地のコーディネーターを配置し、セミナーや商談会の開催、ミッションの派遣、相談事業等を通じてアジア地域への販路開拓を支援するとともに、3都市合計で年間100件の商談実施を目標とする。

(3) 企業誘致推進事業

大阪市へ進出を希望する国内外の企業を発掘し、大阪進出を促進するための誘致活動を行う。

企業誘致のための助成制度、投資環境情報などのパンフレットやホームページを作成することにより、企業誘致事業のPRを行う。

海外における企業誘致説明会・商談会の開催や、国際見本市への出展に加え、国際コンサルタント等を活用した海外クラスター（先端産業・研究機関の集積地域）への働きかけ等により、外資系企業ならびに国内都市型重点産業（IT、エレクトロニクス、バイオ、ロボットテクノロジー）の誘致有望企業を発掘する。

発掘した誘致有望企業に対して、在阪企業とのビジネスマッチングや各種コンサルティングなどの支援を行う。

東京に進出している外資系企業に対して説明会などを行い、大阪への進出を促進する。

進出支援を行った外資系企業等を中心としたネットワーキング組織を創設し、在阪企業とのビジネスマッチング等を行う交流の場を提供し、進出後の定着支援を行い、事業拡張を促すとともに更なる企業誘致につなげる。